

心の中は...？

小学校6年生

I アクティビティについて

ねらい

学校での日常生活で起こりがちな場面についてのロールプレイを通して、自分の思いや考えを相手にしっかり伝えることと、相手の思いや考えを共感をもって理解することの大切さに気づかせるとともに、「考える」「話す」「聞く」という基本的なコミュニケーション能力を育てる。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎コミュニケーション能力
- 人間の尊厳・価値の尊重
- 多様性の尊重・共生

設定の理由

この発達段階の児童には、相手の思いや考えを理解することが大切だと頭では分かっているが、実際の場面では、自分の思いや考えだけでものごとを判断し、他者を責めたり、厳しい言動をとりがちなどころがある。

そこで、学校での日常生活で起こりがちな場面についてのロールプレイに取り組みさせることにより、自分の思いや考えをどう表現すればよいか、他者の話をどう聞くべきかなどを考えさせ、互いに伝え合い、分かり合えるためのコミュニケーション能力を育てたい。

アクティビティの概要 (1時間扱い)

- 活動1 日常の生活場面について、ロールプレイ1を行う。
 - ・グループでロールプレイ1を行う。
- 活動2 ロールプレイ2を行う。
 - ・グループでロールプレイ2を行う。
- 活動3 活動について振り返る。

アクティビティの実際

- 準備するもの
 - ・ワークシート

- アクティビティの進め方

活動1 ロールプレイ1

- ① 静かに話しかけ、落ち着いた雰囲気を作り出す。
- ② 4人程度のグループをつくる。
(人間関係に配慮し、教師が事前に編成しておく)
- ③ 全員床に座らせ、ロールプレイのやり方を説明する。

— 教師の説明 —

私たちは、相手がどのように思っているか正確に知りたいけれど、相手の心を覗くことはできませんね。そこで、同じ行動でも相手の気持ちのとらえ方によって、受ける印象が違ってくるのか考えてみましょう。

台本を配りますので、演じる人(Aさん、Bさん)を決め、残りの二人はよく見ていてください。

ロールプレイが終わったら、演じた人は演じて感じたことを、見ていた人は見て感じたことを、ワークシートに記入してください。その後、感じたことを発表し合ひましょう。

(相手の行動の理由が分からないようにするために、2種類の台本を用意する。)

- ④ ロールプレイ1を行う。
- ⑤ 教師はグループを回りながら、支援を行う。(10分程度)
- ⑥ Aさんが体育館に行けなかった理由について、話し合わせる。

— 教師の発問例 —

○Aさんの行為を「わざと」、「仕方がなかった」の2通りでとらえると、どう感じますか。

○相手の気持ちのとらえ方で、自分の気持ちが大きく変わりますね。

- ⑦ ワークシートに、話し合い後の感想を記入させる。

活動2 ロールプレイ2

- ① 活動1と同じグループで、ロールプレイ2を行わせる。(ロールプレイ1と役割を交替させる。)
- ② 教師はグループを回りながら、支援を行う。(10分程度)

- ③ Cさんが右の方を向いてしまった理由について、話し合わせる。

活動3 振り返り

- ① 活動を振り返らせる。

- ・ 本時の活動を通して感じたこと、気づいたことをワークシートに記入する。
- ・ 感想を発表し合い、相互理解やコミュニケーションの大切さを確認する。

＜振り返りの留意点と発問例＞

- このアクティビティーについてどう感じたか、何に注意すれば相手を理解することができるか、自分を分かってもらえるか、学習者が学んだことを発表させる。
- 相手とコミュニケーションをとり相互理解することが、お互いに気持ちよく生活できることにつながることに気づかせる。

発問例

今日の活動を通して、感じたことを発表してください。

発問例

今までに、相手を理解することが難しいと感じたことはありませんか。

アクティビティーを指導するポイント

- ◇ ロールプレイがふざけ半分やおもしろ半分に終わらないように、教師がねらいをしっかり持つとともに、児童にそのことを明確に伝える。
- ◇ 演じた児童、見ていた児童が自分の考えを自信を持って発表できるようワークシートを用意する。
- ◇ 本アクティビティーは、2つのロールプレイを組み入れ、それぞれグループで実施しているが、「ロールプレイ1」のみを取り上げ、代表児童にAさん、Bさんを演じさせ、児童全員でAさん、Bさんの立場から話し合うことも有効である。
- ◇ グループでのロールプレイ終了後、役割と本人とを切り離すことが大切である。そのために、教師は、児童全員に聞こえるように「みなさん、ロールプレイは終わりです。もう、役は終了しました。」と、告げるようにする。

Ⅱ 授業展開例

～小学校6学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	<p>1 アクティビティのやり方の説明を聞く。</p> <p>2 ロールプレイ1を行う。</p> <p>3 感じたことや考えたことをシートに記入する。</p> <p>4 感想や気づいたことについて話し合う。</p> <p>5 ロールプレイ2を行い、感想や気づいたことについて話し合う。</p> <p>6 本時の活動を振り返る。</p>	<p>○グループ分けは人間関係に配慮し、教師が事前に編成しておく。</p> <p>○教師はグループを回り、支援を行う。</p> <p>○演じた人は演じて感じたことを、見ていた人は見て感じたことを記入させる。</p> <p>○Aさんが体育館に行けなかった理由について話し合わせる。その後、Aさんの事情を全員に知らせる。</p> <p>○Aさんの行為を「わざと」、「仕方がなかった」の2通りでとらえると、感じ方が違うことに気づかせる。</p> <p>○自分のことも理解してもらうようにすることが大切であることに気づかせる。</p> <p>○相手の立場に立って理解することや自分の立場を相手に理解してもらうことの大切さに気づかせる。</p> <p>○感想を発表し合い、相互理解やコミュニケーションの大切さを確認させる。</p>

Ⅲ 資料

(1) 台本例

ロールプレイ1の台本(Aさん用) は、他の人には聞かせません。

☆ある学級では、玉入れ練習のために昼休みに体育館に集まる約束をしていました。

Bさん 「玉入れの練習、今日からだよ。体育館に先に行ってるよ。」

Aさん 「うん、分かった。ちょっとトイレに行ってから行くね。」

Bさん 「うん、分かったよ。じゃあね。」

でも、Aさんは来ませんでした。

Bさん 「どうしたんだろう？Aさん、来ないな。」

急におなかがとてもいたくなって、保健室で寝ていたのですが、誰にも伝えていませんでした。

次の日の昼休み、Bさんが練習の時間に遅れてきました。

Aさん 「どうしたの？遅刻だよ！」

AさんがBさんに注意しました。

昨日いなかったAさんに注意されたBさんは「カチン」ときて、

Bさん 「何言ってるんだよ。昨日来なかつたくせに！」

Aさん 「わけがあるんだよ。」

Bさん 「わたし(ぼく)だって、わけがあるよ。自分のことはたなに上げて…。人のことを言う資格ないよ！」

これがもとでけんかになってしまいました。

ロールプレイ1の台本(Bさん、班のメンバー用)

☆ある学級では、玉入れ練習のために昼休みに体育館に集まる約束をしていました。

Bさん 「玉入れの練習、今日からだよ。体育館に先に行ってるよ。」

Aさん 「うん、分かった。ちょっとトイレに行ってから行くね。」

Bさん 「うん、分かったよ。じゃあね。」

でも、Aさんは来ませんでした。

Bさん 「どうしたんだろう？Aさん、来ないな。」

次の日の昼休み、Bさんが練習の時間に遅れてきました。

Aさん 「どうしたの？遅刻だよ！」

AさんがBさんに注意しました。

昨日いなかったAさんに注意されたBさんは「カチン」ときて、

Bさん 「何言ってるんだよ。昨日来なかつたくせに！」

Aさん 「わけがあるんだよ。」

Bさん 「わたし(ぼく)だって、わけがあるよ。自分のことはたなに上げて…。人のことを言う資格ないよ！」

これがもとでけんかになってしまいました。

ロールプレイ2の台本（Cさん用）

□□□□ は、他の人には聞かせません。

<Cさんは、右耳が不自由なので、人の話をよく聞こうとする時は、左耳を相手の方へ向けます>

☆Dさんは、たてわり活動で同じ班になったCさんに初めて話しかけました。

Dさん 「ねえ、Cさん。」

Cさん 「何？」（右を向く。）

Dさん 「同じ班だね。」

Cさん （右を向きながら）「うん、そうだね。」

Dさん 「今度いっしょに昼休みに遊ばない？」

Cさん （右を向きながら）「うん、いいよ。」

いっしょうけんめい話しているのに、Cさんはいつも右の方を向いていました。

Dさんは、人がいっしょうけんめい話しているのに何て失礼なんだろう。と思いました。

その後、Dさんは友だちから、Cさんの右耳が聞こえないことを知りました。実は、CさんはDさんの話をしんげんに聞こうと、聞こえる方の左耳を向けていたのです。

ロールプレイ2の台本（Dさん、班のメンバー用）

☆Dさんは、縦割り活動で同じ班になったCさんに初めて話しかけました。

Dさん 「ねえ、Cさん。」

Cさん 「何？」（右を向く。）

Dさん 「同じ班だね。」

Cさん （右を向きながら）「うん、そうだね。」

Dさん 「今度いっしょに昼休みに遊ばない？」

Cさん （右を向きながら）「うん、いいよ。」

いっしょうけんめい話しているのに、Cさんはいつも右の方を向いていました。

Dさんは、人がいっしょうけんめい話しているのに何て失礼なんだろう。と思いました。

(2) ワークシート例



心の中は…？

年 組 名前

☆ロールプレイ1

	ロールプレイの後	話し合いの後
Aさんを演じて 感じたこと		
Bさんを演じて 感じたこと		
二人のやりとりを 見ていて感じたこ と		

☆ロールプレイ2

	ロールプレイの後	話し合いの後
Cさんを演じて 感じたこと		
Dさんを演じて 感じたこと		
二人のやりとりを 見ていて感じたこ と		

今日の学習をして感じたこと・気付いたこと

参考 グループ活動を効果的に進めるテクニック その4

シミュレーション

シミュレーションは、児童・生徒全員を巻き込んだ、いわば拡張型のロールプレイと見なすことができる。

シミュレーションの後で報告会をすることは、特に重要である。シミュレーションを演じた人たちは、自分たちの感情について議論することが大切である。たとえば、なぜ自分がある行動を選び取って演じたのか、どんな不公正に気づいたか、そして達成された解決法がどれくらい自分たちにとって受け入れうるものであると考えるか、等々を議論することが大切である。このことを通して、児童・生徒は、自分たちが経験したことと、社会における現実の状況とを比較してみることができるように支援されることになる。